

特集 津波から逃れるために

問い合わせ 総務グループ (☎85-1130)

避難訓練をする市民



津波は、時としてたくさんの人命を奪います。命を守るためには、津波が来る前に危険な場所から避難することが何より大切です。しかし、実際に津波が発生したとき、私たちはすぐに避難することができるのでしょうか。今号では、いざという時のために、各家庭で事前にしておくべきことをご紹介します。

自然環境と自然災害

四方を海に囲まれ、温暖な気候に恵まれた国・日本。国土の7割近くを占める森林には多様な動植物が生息し、四季折々に美しい姿を見せてくれます。

一方で日本は、自然災害の多い国としても知られています。その最大の災害が地震です。『平成26年版防災白書』（内閣府作成）によると、平成15年から25年までの11年間で、世界で発生したマグニチュード6以上の地震の約19%が、日本で発生しています。

時に多くの命を奪う津波

地震は、しばしば津波を引き起こします。その津波が地震そのものより深刻な被害をもたらすことも、少なくありません。

平成23年に発生した『東日本大震災』は、1万5千人以上の死者を出しました。平成24年の内閣府の報告によると、その死因の9割以上が、津波に巻き込まれたことによる溺死とされています。

津波が発生する主な原因は、海底で発生する地震です。一般に地震が大きいほど発生する津波も大きいと

言われていますが、震源の位置などにも影響されるため、必ずしもそうとは限りません。

明治29年の『明治三陸地震』は、観測された震度が最大でも4であり、地震そのものによる被害は少なかつたのですが、津波によって2万人以上の犠牲者を出しました。

津波から命を守るために

私たちの住む北海道は海に囲まれており、過去に何度も津波の被害に遭っています。

平成5年に発生した『北海道南西沖地震』では、地震発生から5分程度で津波警報が出されましたが、それでも津波によって多くの犠牲者が出ました。

津波から命を守るためには、大地震が発生して身の危険を感じたり、津波警報などが発表されたら、すぐに避難を始めることが重要です。津波が来るのを見てから避難を始めても間に合いません。

いざというとき、事前の備えなしにとっさに避難することは、簡単なことではありません。日頃から高台避難場所などの位置を確認し、すぐに避難できるように準備をしておくとともに、避難訓練などに取り組みましょう。